

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 21 年 3 月 26 日 (2009.3.26)

【公表番号】特表 2008-530528 (P2008-530528A)

【公表日】平成 20 年 8 月 7 日 (2008.8.7)

【年通号数】公開・登録公報 2008-031

【出願番号】特願 2007-554208 (P2007-554208)

【国際特許分類】

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 33/531 (2006.01)

G 0 1 N 33/543 (2006.01)

G 0 1 N 33/577 (2006.01)

C 0 7 D 239/553 (2006.01)

C 0 7 K 16/44 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/53 S

G 0 1 N 33/531 A

G 0 1 N 33/543 5 1 1 D

G 0 1 N 33/577 B

G 0 1 N 33/543 5 2 5 U

C 0 7 D 239/54 C S P C

C 0 7 K 16/44

C 1 2 P 21/08

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 2 月 2 日 (2009.2.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

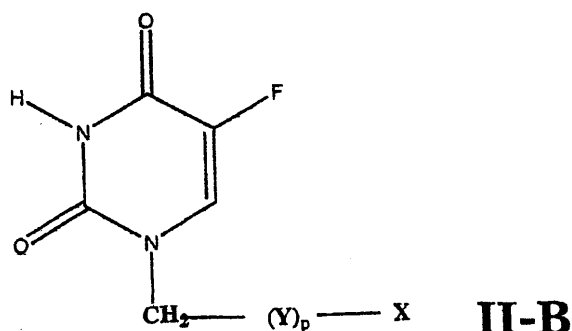
【請求項 1】

a) 試料と、

b) テガフルに実質的に交差反応しない 5 - フルオロ - ウラシルに選択的に反応する抗体と、

c) 一般式

【化 1】

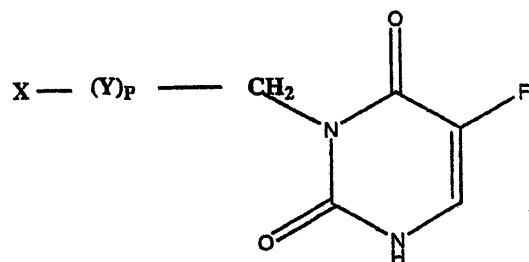


(式中、Yは有機スペーシング基、Xは担体に結合可能な末端官能基、pは0～1の整数)

の化合物、

一般式

【化2】



II-A

(式中、X、Y及びpは前記のとおり)

の化合物、

又は、その混合物を伴う担体の共役と

の混合物を用意することを含む試料中の5-フルオロ-ウラシルを検出するための免疫測定法であって、

試料中の5-フルオロ-ウラシル及び前記抗体に結合する前記共役を生じさせ、その後、試料中の5-フルオロ-ウラシルの存在を測定可能とすることによって前記抗体に結合又は未結合の前記混合物中の前記共役量を測定することを特徴とする免疫測定法。

【請求項2】

請求項1記載の免疫測定法であって、一般式II-Aの化合物及び/又は一般式II-Bの化合物中のpは0であることを特徴とする免疫測定法。

【請求項3】

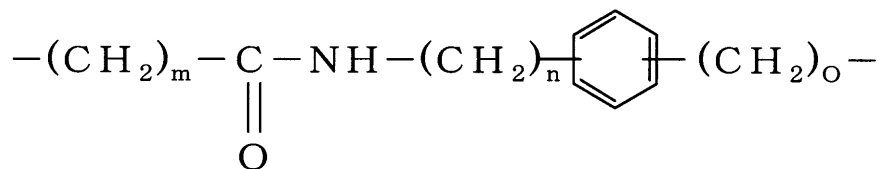
請求項1記載の免疫測定法であって、一般式II-Aの化合物及び/又は一般式II-Bの化合物中のpは1であることを特徴とする免疫測定法。

【請求項4】

請求項3記載の免疫測定法であって、一般式II-Aの化合物及び/又は一般式II-Bの化合物中のYは、

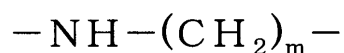
1～10の炭素原子を有するアルキレン又は

【化3】



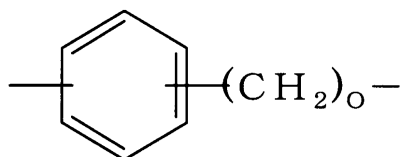
又は

【化4】



又は

【化 5】

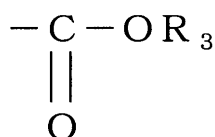


（式中、n 及び o は 0 ～ 6 の整数、m は 1 ～ 6 の整数）であることを特徴とする免疫測定法。

【請求項 5】

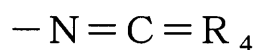
請求項 1 ～ 4 いずれか一項に記載の免疫測定法であって、一般式 I I - A の化合物及び / 又は一般式 I I - B の化合物中の X は、

【化 6】



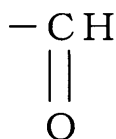
又は

【化 7】



又は

【化 8】

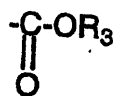


（式中、R₃ は水素又は反応エステルをなす酸素原子と結合して得られ、R₄ は酸素または硫黄である）であることを特徴とする免疫測定法。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 いずれか一項に記載の免疫測定法であって、一般式 I I - A の化合物及び / 又は一般式 I I - B の化合物中の X は、

【化 9】

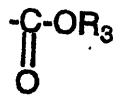


であり、R₃ は水素であることを特徴とする免疫測定法。

【請求項 7】

請求項 1 ～ 5 いずれか一項に記載の免疫測定法であって、一般式 I I - A の化合物及び / 又は一般式 I I - B の化合物中の X は、

【化 1 0】



であり、 R_3 は反応エステルを形成することを特徴とする免疫測定法。

【請求項 8】

請求項 7 記載の免疫測定法であって、一般式 II - A の化合物及び / 又は一般式 II - B の化合物中の前記形成されるエステルは低級アルキルエステル、イミドエステル又はアミドエステルであることを特徴とする免疫測定法。

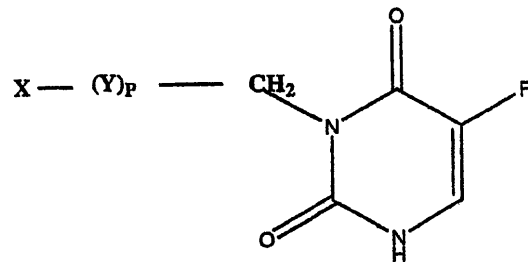
【請求項 9】

請求項 1 ~ 8 いずれか一項に記載の免疫測定法であって、前記試料はヒトの試料であることを特徴とする免疫測定法。

【請求項 1 0】

請求項 1 ~ 9 いずれか一項に記載の免疫測定法であって、前記抗体は、
一般式

【化 1 1】

**II-A**

(式中 X 、 Y 及び p は特許請求の範囲 1 ~ 8 のいずれかで定義される)

の化合物と共役するポリアミンポリマーを含む免疫原担体を有する免疫原から生じることを特徴とする免疫測定法。

【請求項 1 1】

請求項 1 ~ 1 0 いずれか一項に記載の免疫測定法であって、前記抗体は固形支持体に付着していることを特徴とする免疫測定法。

【請求項 1 2】

請求項 1 1 記載の免疫測定法であって、前記固形支持体はマイクロタイタープレートであることを特徴とする免疫測定法。

【請求項 1 3】

請求項 1 1 記載の免疫測定法であって、前記固形支持体は微小粒子であることを特徴とする免疫測定法。

【請求項 1 4】

選択的に 5 - フルオロウラシルに結合し、実質的にテガフルに結合しないことを特徴とする抗体。

【請求項 1 5】

請求項 1 4 記載の抗体であって、前記抗体はモノクローナル抗体であることを特徴とする抗体。

【請求項 1 6】

請求項 1 4 又は請求項 1 5 記載の抗体であって、前記抗体はマウス、ウサギ又はラット由来のものであることを特徴とする抗体。

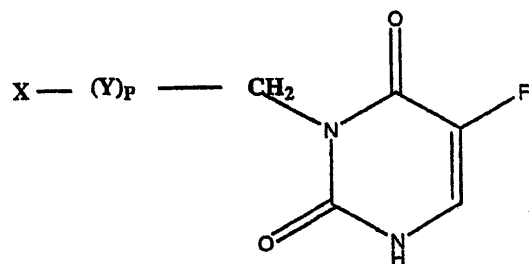
【請求項 1 7】

請求項 1 4 ~ 1 6 いずれか一項に記載の抗体であって、前記抗体は実質的にウラシル及びシトシンと交差反応しないことを特徴とする抗体。

【請求項 18】

請求項 14 ~ 17 いずれか一項に記載の抗体であって、前記抗体は、
一般式

【化 12】

**II-A**

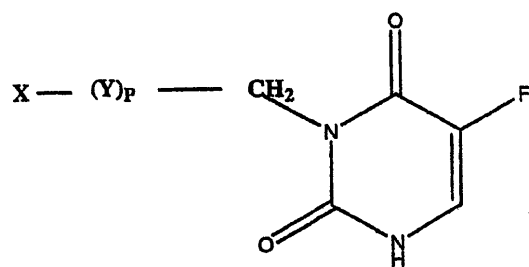
(式中、X, Y 及び p は、請求項 1 ~ 8 いずれかで定義される)

の化合物に共役したポリアミンポリマーを含む免疫原担体由来のものであることを特徴とする抗体。

【請求項 19】

一般式

【化 13】

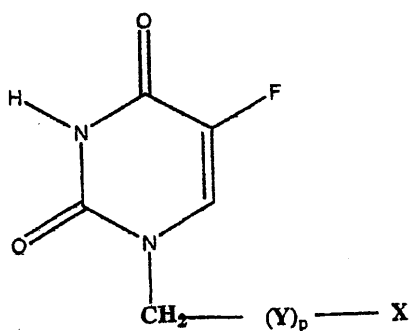
**II-A**

(式中、X, Y 及び p は、請求項 1 ~ 8 いずれかで定義される)

の化合物、

一般式

【化 14】

**II-B**

(式中、X, Y 及び p は、請求項 1 ~ 8 いずれかで定義される)

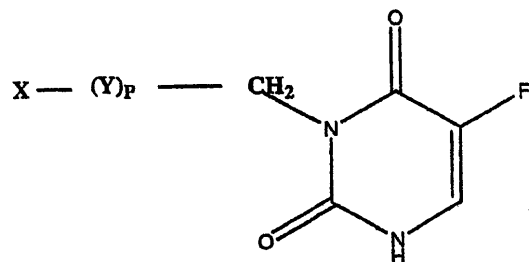
の化合物、

又は、その混合物。

【請求項 20】

一般式

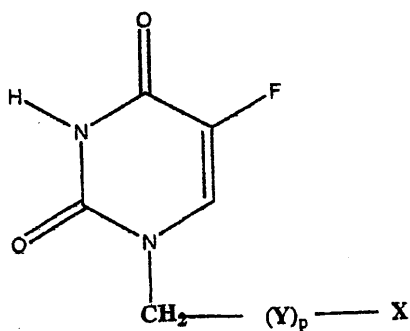
【化 1 5】

**II-A**(式中、X、Y及びpは、請求項1～8いずれかで定義される)

の化合物、又は、

一般式

【化 1 6】

**II-B**(式中、X、Y及びpは、請求項1～8いずれかで定義される)

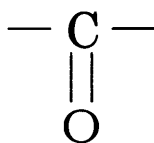
の化合物、

又は、その混合物を伴う担体の共役。

【請求項 2 1】

請求項 2 0 記載の共役であって、担体は、

【化 1 7】



又は

【化 1 8】

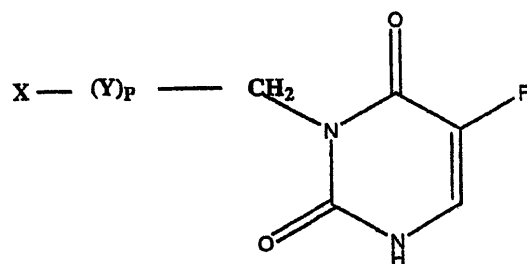
(式中、R₄は酸素又は硫黄)

によって結合された1つ以上のアミノ基を含むことを特徴とする共役。

【請求項 2 2】

一般式

【化 1 9】

**II-A**

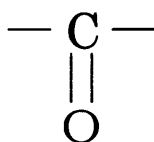
(式中、X, Y 及び p は、請求項 1 ~ 8 いずれかで定義される)

の化合物に結合するポリアミンポリマーを含む免疫原担体を含む免疫原。

【請求項 2 3】

請求項 2 2 記載の免疫原であって、免疫原ポリマーは、

【化 2 0】



又は

【化 2 1】



(式中、R₄ は酸素又は硫黄)

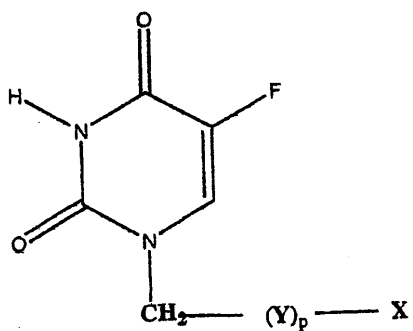
によって結合される 1 つ以上のアミノ基を含むことを特徴とする免疫原。

【請求項 2 4】

分離した容器に試薬を含み、患者試料中の 5 - フルオロウラシルの存在を検出するキットであって、

試薬の 1 つは、一般式

【化 2 2】

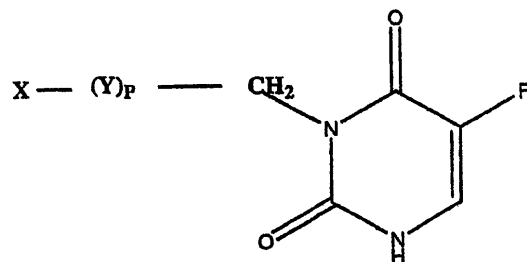
**II-B**

(式中、X, Y 及び p は、請求項 1 ~ 8 いずれかで定義される)

の化合物に伴う担体の共役、

又は、一般式

【化 2 3】

**II-A**

(式中、X, Y 及び p は、請求項 1 ~ 8 いずれかで定義される)

又は、それらの混合物であり、

第 2 の容器は、5 - フルオロ - ウラシルに実質的に選択的に反応し、テガフルに実質的に交差反応しない抗体を含むことを特徴とするキット。

【請求項 2 5】

請求項 2 4 記載のキットであって、前記共役は前記第 1 の容器に予め決められた量存在することを特徴とするキット。

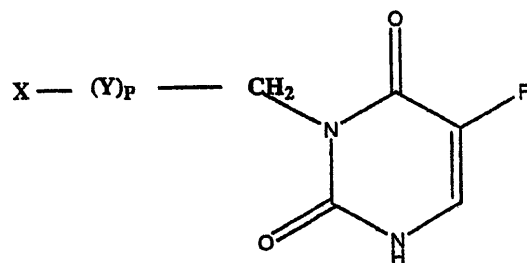
【請求項 2 6】

請求項 2 4 又は請求項 2 5 記載のキットであって、前記キットは前記試料中の 5 - フルオロ - ウラシルの量を測定するのに用いられることを特徴とするキット。

【請求項 2 7】

請求項 2 4 ~ 2 6 いずれか一項に記載のキットであって、前記抗体は、
一般式

【化 2 4】

**II-A**

(式中、X, Y 及び p は、請求項 1 ~ 8 いずれかで定義される)

の化合物に結合する免疫原ポリアミンポリマーの免疫原から生じることを特徴とするキット。